

人生はチャレンジの連続である。  
人生は私を創造する時間なのだ

# 知的生産の技術7 20001120

大学に入ってから  
まだ7ヶ月しか  
経っていないのに  
思い出がやけに  
多いのに驚きました。  
それだけ毎日の生活が  
充実しているのかな

格言 物事を徹底的に観察研究するのは  
未開人、農民、田舎者である

今日は5分も必要なかった

前は休んでしまった。時間の話は  
聞きたかった。僕の時の格言は  
Each and every moment as time goes by,  
All in this world has to change...  
So tomorrow is another day.

タイプ  
2

大学時代は  
最近あった事すぎて  
全然思い出せなかった

高校の時と比較して  
自分の物の考え方が  
先生方の考え方に対して  
賛成・反対する傾向が  
出て来たと感じた。  
“チャレンジ精神”を大事に  
したいと改めて感じた

タイプ  
1

ごく最近の大学時代の方が  
思い出しにくいというか  
最近のことすぎて、考えることが  
できないように感じられた。  
だから書くのが一番難しかった

成功体験の積み重ねが  
大きな仕事のできる人間をつくる  
というのは聞いた事があった。  
やりぬく経験を  
多く積まなければいけないと思う

大学に入って自由な生活をいかに  
最近ではだらしのない生活を送っている。  
大学に入った時の喜びや  
張り切っていた気持ちを  
もう一度思い出したい

“教科書”が無い授業って  
とても好きです。特に  
皆の書いたアンケートを読むと  
同じ講義を受けているのに  
感想は様々で  
“個人”が見えてきます

毎週、前回の講義のアンケートを見ると  
同じ講義を受けていても  
その中で感じ取ることが  
一人一人異なるという感じがします。  
自分では感じたり  
考えつかない意見(感想)を読むことが  
毎週の楽しみになっています

少なくともこの大学へきて  
私は大きく変わりつつあります。  
全てはこれからです

近くに刺激を受けられる人がいて良かった

いろいろ多すぎて  
書ききれなかったが  
断片的に見ても  
偶然的な要素  
(間違いとも言う)が多い

「瞑想」の時間  
というより  
むしろ「迷走」の  
時間だった

自分史の  
ホームページアドレスは  
今は分からないので  
後で連絡ボードへ  
のせたいと思います

入学してまだ8ヶ月しか経ってないけど  
すごく内容の濃い8ヶ月でした。  
それが素晴らしい先輩との出会いから  
始まっていることも思い出すと  
運命的だなあと思う。私もこれから  
彼のような後輩に大きな影響を与えられる  
先輩になりたい

創造性はとっても重要な事と思う  
大人になったら創造性、どんどん  
少なくなってしまう気がする。  
会社や団体の中で自分の創造性は  
なかなか発揮できないのではないかと  
思う。どうすれば個人の創造力と  
集団の協力、両方組み合わせ  
うまくいくのか、これからの勉強と思う

今日の話から  
知る 分かる 身に付く  
(バラバラ) (全体) (表現できる)  
それを一連の流れにまとめることも  
覚え始めた。しかしそれを元に  
自分の意見を述べるとなると  
まだまだ弱いと思いました。  
今期はこの点に注意して  
レポート作成を行ってみます。  
この講義は自分史だけでなく  
「生きる」ことに対するヒントも  
先生は話してくれるので  
一石二鳥ですね!

「大学とは」ということが  
よく分かっていない

タイプ  
3

大学に入って  
まだ7ヶ月しか  
経っていないが  
一番充実している

大学生活は  
私の友人関係、考え方など  
全ての面において  
学んでいく場である

私も大学祭実行委員を  
していましたが  
途中からの参加だったので  
もったいなかった

大学に入って学長に洗脳された。  
どうして宮城大だけ  
野球のグラウンドが無いのか

# 知的生産の技術7 20001120

あんなに沢山書くことがあって大変だった高校も、多くは2,3年で1年は少なく特に1年前半は少なかった。ということはこの授業で作った自分史を後に3年4年くらいでまた大変な部分を作る必要があるということだろう。うんつまり、この講義はずっと続くようなものなのかな?

大学に入って馬鹿になった。自分は全体を見ることが出来る段階まで成長していないと感じた。大学に入って没頭できた事はファッションデザインだけだ。また大学では運命を感じる出会いが2つあった

もう大学時代まで進んできましたね! いよいよ自分史を書くことになると思ったらちょっと変な気持ちになってしまいました。私は毎日日記をつけています。自分史って言うのが日記のようなものではないのでしょうか。でも日記を人に見せるのがちょっと嫌ですね

まだ思い出として振り返られない。現在進行形のものを思い出すのは難しい

楽しい事ばかりです。自分史楽しみです

大学時代のことは本当に1日1日良く覚えていた。日記をつけていたからだと思う。1年前とは考え方や価値観が全く変わっていた。それは今年の夏にイノヘ行った事がきっかけだった

時の流れは本当に早いものだなあと感じる。楽しいこと嬉しいこと嫌なことたくさんあった

何もかもが新しく毎日がとても充実していた。今はとても充実していて忙しい日々だ

先生の言う事は「正しい」と思うような言葉が多い。だからこそ疑いたくなる

タイプ 4

人の話も前に聞いた事があるような内容だったりもうすでに知っていたり誰かの受け売りだったりするとつまらない。これも脳内モル比ネのせいだろうな...

表現する力をつける事が重要である事や一つの仕事をやり通す事により人間が大きくなるということなど大変ためになる話でした

高校から大学に移っただけなのにこんなに自分が豊かになるとは...

これからどんどん新しい事に挑戦し内容の濃い大学生活を送っていきたい

大学の3年間で思い起こした時断片が取り留めなく出てきたけれど何の関連性もなくそれらのことが一体私の身に付いているのかとても不安になった。私は人との出会いによって生きる上での本質的に大切な事を教えられ気付かされ、そのことを沢山の人に伝える仕事につきたい人だという気持ちに気付いた

高3と同じくらいの濃さだが時間が近すぎて、自分の中で整理がついていないため良く思い出せなかった

最近自分のHP作成に凝ってますがHPは自分の城だと言う人の気持ちがようやく分かってきました。1から10までHPは、自分の個性で出来上がってしまうもんです

大学時代。今思えばもっと色々な事を経験しておけば良かったと少し悔やんでいます

先生が自分史を通して私たちに示唆しているのは過去でも現在でもなく未来をどう生きるかだろう。これによって自分も良い方に変わればと思う

自分に言い聞かせる肯定的な言葉は全く違う気がした。そもそも私にはそういう言葉がないように思える

タイプ 5

期間が短いせいか今までの中学や高校時代などより思い出すことが少なかった

他の講義から感じられる「つまらなさ」を久恒先生の講義に感じないのは「自分」を見つめ直さざるを得ない内容だからだと思う

私は持っている知識をうまく表現できていない。また私は先生がおっしゃるような生き方はできないと感じた。自分がそういった生き方は嫌いなんだと思うし、やろうとしても多分上手くいかないだろう

大学に入って、友達に本当に恵まれていると思った

大学時代は全然思い出せなかった

先生の話はいつも納得できてとても面白い。多分ためになると思うでも先生の事を可愛そつだと思ってる自分もいる

私はこの大学に入学する事によって1つの転機を迎えたような気がします。以前の私なら「自分史」を書くことに対しおそらく抵抗感を感じ講義をとることすらしなかったでしょう。私ができるようになったのは、他ならぬ友人との出会いだった

もっと色々な格言が聞きたい

大学時代のことはあまり書けなかった。これから熱中したり影響を受けたりする事があるのかと思った

達成」が「やりがい」となり「やりがい」が沢山できると「生きがい」になる。これはある種、格言だと思う

時代になんて流されない。だって俺は調停者

# 知的生産の技術7 20001120

自分の人生について考え直したい

今が人生の中で一番好きな事ができる時期かもしれない。掲示板を見ただけでもボランティアや合同サークル等自分を活かす機会はいくらでもある。それだけに「自分らしく生きる」という事を一番考えさせられる大事な時期だとも思った

タイフ  
6

「人間はルーチンワークだけでは満足できなく創造的な仕事が必要である」という言葉に妙に説得力があった。企業とかはチャレンジすることが善しとされていますが公務員、病院(看護婦組織)では逆に煙たがれる現状だと思います。医療組織は企業に比べて10~20年も遅れていると感じます。内部の変化が起こるような環境が大切だと思う

最近のことで今日のはスラスラと書けた。書き易かった。自分の背丈の伸びる仕事をしよう」という先生の言葉は他のことでも言えることですよ。多少無理をしないと伸びるものも伸びません。でもこの「多少」の加減が難しい!

いくら知識を持っていても色々な事が分かっていてもそれを表現することができなければあまり意味がない

タイフ  
8

皆さん、大学に対して高い意識(過度の)期待を持っていて感心してしまいました

今日で大学時代まで資料が揃い、なんか自分史を書くのがすごく楽しみ

大学生活は書けることがなくて困った

リーダーをやると大きくなれるのは合っているかもしれない。自信はなかったけどリーダーをやることがあったので思い切ってやってみた。仕事ができる人達の上に立つのは辛かったけどその人達のおかげで成功した。達成感があって自分が一回り大きくなれた気がした。とりえず発言力を手に入れたかもしれない。大学は親の元を離れやりたい事ができるようになった

今現在、自分の性格や方向性、今やるべき事などに疑問と悩み、迷いがでてきている。来週の性格タイフと職業の資料ずっと楽しみにしていました。それが今の自分がどういう風に進んでいけばいいのかという答えのヒントになればいいな

1年も終わりに近づいてきて入学当初とは自分の意識が変わってきている。今は何となくモヤモヤしているような事が振り返る事で自分のこれからの目標を含めてはっきりすればいいと思った

この大学を選んだ理由は条件がぴったりだった事と何より高3の時に久恒先生のお話を聞いたからだった。この学校に来て良かったと思うのは今の友達に会えたことだ

高校までにはない、今まで足を踏み入れた事のない世界をたくさん見たような気がする。まだ半年というよりもう半年といった感じがしている

振り返ってみるとたくさんの出会いがあったしたくさんの経験をしているのでびっくりした。大学生活を通してもっとたくさんのことを経験したい

先週、学祭の片付けでこの講義に出席できなくて残念だった。先生の講義は、私達の「バラバラな知識」つまり知っている事をまとめて「全体として」分らせる役割を果たしてくれているような気がする

最近は一週間で単調+数年前から変わっていない自分に気付きました。いい加減飽きてきました。何かを始めてまた新たな自分を発見し成長したいです!

入学して一年も経っていないけれど今まで生きてきた中で一番内容の濃い時期だったと思う。若いうちは沢山辛い経験をしてもらっておくと自分のためになると思う

学祭では「挫折」に似たものも経験できた

タイフ  
7

大学のことで特に印象に残っているということはまだない

自分では達成したという感覚はないのですがやりがいは感じる。これは変ですか?

中学高校とはまた違ったことをやっていきたい

なぜか今までで一番思い出すのが大変だった

先生のお話はごもっともでじぶんもしっかりしなきゃと思わされた

今日の先生の話はとて身にしみた。最近の私は、自分にとても甘かった気がする。やはり自分を大きくするには挑戦と努力あるのみだ

タイフ  
9

「仕事」を最初から最後までやり通すこと単純な様で難しいことだと思う。以前高名な小説家が小説家を名乗る条件として「ワロケからEロケまで一つの物語を完結させたことのある者」ということを挙げていたのを思い出した

# 知的生産の技術7 20001120

時間を有効に使って理想の自分に近づけるように努力しなければいけないと思った。大学に入ってまだ何も達成していないので面倒な事を避けようとしてしまいがちだけれど頑張りたいと思う

たった半年なのに自分の内外で大変動が起こっていた。この変化をうまく成長につなげていきたい

今、1年生の頃の考えや生活というのはなかなか思い出せず驚きました

私は自発的に物事を行う事が苦手です。でも確かに先生の言うように自発的に行った時は自分にとってプラスになることが多い気がした。これからはもっと積極的に色々なことに挑戦してみたい

部分的な仕事をやるにも全体を把握することは本当に重要だと思う。大学生活を振り返って後期のテストが不安

看護の実践でも問題提起から手順+フィードバックという過程を学びます。看護の場面に限らず人が成長していく中で不可欠な考え方である事が分かりました。私も沢山のやりがいを見つけながら大きな生きがいへとつなげていきたい

入学当初、自分は何のためにこの大学を志望したのか目標は何だったのかなど改めて初心を省みる事ができた。また学長を始め講義にいらしてくれた浅野知事や佐治氏など、これからの私の人生に影響を与えてくれた貴重な出会いが多かった事が印象的でした。大学では色々なタイプの人と接する機会が多いのでそのチャンスを有効に活かして有意義な大学生活を送りたい

今回、創造性を大切にしていきたい勉強になりました

一人暮らしが始まって親のありがたみがよく分かった。現実の世界で強く生きていける人になりたい

楽しい日々が続いている。でも何も学んでいない気がする

大学に入ってから自分の考え方とかもの見方が、少し変わったように思う。今日は周りに友人もいなくて一人で色々考えていたら気分が落ち込んでしまいました

書けることが少なかった

7ヶ月ちょっと経ちましたがとても短く感じた

1年生を終わった時点で書いたら大分変わってると思う

大学生活も8ヶ月になって時間がすぎるのが早いなあと思った

リーダーになったことで自分に厳しくなったし周りのことも考えた行動が取れるようになった。大学生になりリーダーという立場になることは、なかなかないので、そういった機会があれば、率先してリーダーになってみようと思った

約半年間を振り返っているうちにこれからの事を考えてしまっていた

一番たくさんのお出来事があると思った

人間は1つの殻を破り、その外にある更に大きな殻を破って成長していくという言葉がすごく良かった。あと知るということはバラバラの知識を得ただけということもすごく印象に残った

## タイプ 9

将来の夢もない

実行委員会とは何なのか。「運営」とはどういうことか。色々考え、もがいているうちに大学祭が終わってしまった

大学生のことが一番書くことがなかった

まだ1年経っていないけど色々なことがあった気がする

脳内モルネの話聞いてどうりで最近何をやっても高校の時ほど達成感が以前より少ないと思った。一馬さんの話を聞いて今まで彼のすごさは才能だと思っていたが今までの結果であるということを知り自分ももっと沢山チャレンジして成長すれば、彼のようなすごい人になれるという希望が持てた

まだ1年生だけれども高校と比べるとずいぶん成長したと思う。体の成長ではなく心の成長だ。でも多分これからまだまだ成長するのだと思う。私は自分のやりたい事を後悔しないようにやりたい

先生のおっしゃる通り!でも独走して引っ張るリーダーの元では他のメンバーが育たない、なんてことを体験してからリーダーになる事は避けています。他のメンバーにも成長して欲しい!でも自分も成長したいから頼まれれば何でもやることにしています

気心が知れた友達という時が今は一番かなと思う

7ヶ月前に入学したばかりなのにとても昔のこのように感じられた。そのくらい忙しい毎日を送っているんだなあ

高校の頃よりも、かなり自分を考えることが多くなった!

これで一応、生まれてから現在までの自分史の材料が揃ったので、これからこれらをどうまとめていこうか楽しみ